

掛川市教育委員会定例会会議録

教育委員会事務局

会議の名称	平成26年9月掛川市教育委員会定例会			
場 所	市役所南館教育委員会室	作 成 者	教育委員会教育政策室 富田正昭	
開催日時	平成26年9月30日(火) 午後3時00分から午後4時40分まで			
作成日時	平成26年10月15日(水)	次回開催日	平成26年10月28日(火)	
資 料	下記会議次第及び別紙添付資料のとおり			
出席者	委員長 委員長職務代理者 委員 委員 教育長 教育次長 こども希望部長	小野恵美子 山本和子 永田孝明 松浦昌巳 浅井正人 平出行良 佐藤益男	学務課長 学校教育課長 社会教育課長 図書館長 教育政策室長 教育政策室指導主事 教育政策室教育企画係長 教育政策室教育企画係	中根純一 佐藤嘉晃 松本一男 村松武 赤堀賢司 豊田彰規 富田正昭 片山能志晴

会議次第

- 1 開 会

- 2 8月教育委員会定例会会議録の承認について

- 3 教育長の報告
(事務報告及び行事予定)

- 4 協議事項
 - (1) 学校評議員の委嘱について
 - (2) 掛川市立中学校全国大会等出場報奨金交付要綱の一部改正について
 - (3) 乳幼児センターすこやか幼稚園部外3園優先条件等について

- 5 報告事項
 - (1) 掛川市内小中学校のあらわれについて
 - (2) 平成26年度全国学力・学習状況調査の結果について
 - (3) 先導的な教育体制構築事業の公募申請について
 - (4) 平成26年度全市一斉青少年育成環境美化活動報告について
 - (5) NPO法人掛川体育協会が管理運営する夏期屋外プールの利用実績について
 - (6) 「かけがわ図書館フェスティバル2014」について
 - (7) 平成26年度教育委員研修視察計画について
 - (8) 9月議会一般質問について

- 6 その他
 - (1) 次回定例会の日程等について

- 7 閉 会

協議事項

(1) 学校評議員の委嘱について

学校教育課長から、学校評議員の委嘱について、以下のとおり説明があった。

原谷小学校、大浜中学校の2校から学校評議員の推薦がありました。その内新任が2名、再任が8名であります。

いずれの方々も信頼が厚く、適任者であります。以上審議をお願いします。

委員：私も数年、地元の小学校で学校評議員を務めさせていただきましたが、通常の任期は何年でしょうか。

学校教育課長：基本的には、1年であります。再任される場合があります。再任につきましては、5年を目途にしています。

他に意見はなく、承認された。

(2) 掛川市立中学校全国大会等出場報奨金交付要綱の一部改正について

学校教育課長から、掛川市立中学校全国大会等出場報奨金交付要綱の一部改正について、以下のとおり説明があった。

今回、公式戦の全国大会で優秀な成績を収めた場合に報奨金を加算できる旨を規定する条文を要綱に追加する一部改正を行うものであります。

中学校の全国大会で、大須賀中学校の剣道部が、女子の部団体戦で全国大会3位という好成績を収めました。この成績は、合併後初めての快挙であり、めったにないことであります。要綱の内規では、具体的には、団体の部において全国大会3位以上の成績を収めた場合、加算する報奨金を10万円の範囲内で支給するものであり、個人の部でも、全国大会3位以上の成績を収めた場合、加算する報奨金を3万円の範囲内で支給するものであります。

今回、この改正が承認いただければ、補正予算で対応していきたいと考えています。

委員：小学生についても、この制度はあるのですか。

学校教育課長：小学生については、全国大会の公式戦がありませんので、この制度は、ありません。

委員長：好成績を収めた団体や個人は、報奨金を授与されることとなりますが、それ以外で市民へのPRはされていますか。

教育長：各種の競技で、好成績を収めた団体や個人は、市長への表敬訪問をしたり、新聞各社から取材を受け、新聞で取り上げられたりして、結果的に市民へPRされることとなります。

他に意見はなく、承認された。

(3) 乳幼児センターすこやか幼稚園部外3園優先条件等について

こども希望部長から、乳幼児センターすこやか幼稚園部外3園優先条件等について、以下のとおり説明があった。

公立幼稚園の平成27年度新入園児の募集を、10月1日から3日にかけて実施します。

例年、定員を上回ることが予想される乳幼児センターすこやか幼稚園部、さかがわ幼稚園、三笠幼稚園、佐東幼稚園の4園では、本年も地区優先を実施したいと考えています。

すこやか幼稚園部では西山口地区・粟本地区を優先します。さかがわ幼稚園では東山地区・日坂地区・東山口地区を、三笠幼稚園では倉真地区・西郷地区を、佐東幼稚園では佐東地区を優先します。説明は、以上であります。

委員：定員が、オーバーすることを前提として募集するのですか。

こども希望部長：すこやか幼稚園部では、地区優先しても更に、定員を超えることが予想されます。その場合は、抽選となります。三笠幼稚園では、昨年、定員を超えて入園を許可しました。今年は、昨年ほどの応募は無いと思われま。

他に意見はなく、承認された。

報告事項

(1) 掛川市内小中学校のあらわれについて

学校教育課長から、掛川市内小中学校のあらわれについて、以下のとおり説明があった。

まず、最近のトピックですが、7月31日から8月1日にかけて、さくら咲く学校とならここキャンプ場で、1泊2日の「イングリッシュイマージョンキャンプ」が行われました。市内の小中学生40人が、英語指導助手とさまざまな英語の活動をとおして、英語の楽しさを体感し、異文化を学ぶことを目的に実施しました。充実した1日になったという感想が多く寄せられました。

8月11日には、掛川東高校で行われた「Enjoy English in 掛西学園」に西中学校区「掛西学園」の小中学生23人と東高校生10人が参加しました。英語活動をとおして同学園内の子ども同士や職員の交流を深めることなどを目的として行われた夏休み特別講座であります。講師は、東高校と西中学校の英語科教員、静岡県外国語講師、各小学校の教員が務め、椅子取りゲームや風鈴を作る創作活動が行われました。

8月27日には、大須賀中学校女子剣道部が、8月中旬に高知県で開催された全国中学校体育大会剣道女子団体戦で、全国3位入賞の快挙を成し遂げたことから、市長への報告をしました。東海大会を制し、全国大会の決勝トーナメントでは、九州の強豪校と対戦し、見事初となる3位入賞を果たしました。

8月の交通事故は、小学生3件、中学生0件でありました。交通事故では、8月下旬に市役所北側の交差点付近で、小学校の児童が車と接触し、すぐにドクターヘリで県立こども病院へ搬送され、手当てを受けました。現在は、大変な回復力により、元気に学校へ通っています。他には、特に大きな事故はありませんでした。

非行等問題行動は、小学校3件、中学校6件でした。大きな事件は起きておりません。

8月の不登校は、夏休み期間中ということで、ありませんでした。

8月のいじめ問題については、小学校1件、中学校0件という状況でした。特に、大きな問題として指導・対応に入っている案件はありませんでした。

以上が、掛川市内小中学校のあらわれに関する報告となります。

(2) 平成26年度全国学力・学習状況調査の結果について

学校教育課長から、平成26年度全国学力・学習状況調査の結果について、以下のとおり説明があった。

結果につきましては、既にホームページで公開されています。また、「かけがわ学力向上ものがたり」の家庭教育支援資料である「家庭のものがたり」の手引きが完成し、明日の校長会で公開することとなっています。

調査結果の概要につきましては、例年ですと部会を開催し、12月に公表していましたが、早期に作成し、校長会で報告することとしました。前回の定例会でもお示ししたとおり、全国・県の平均正答率を100とした場合の市の平均正答率の指標値を表したものであります。全ての教科において県平均、全国平均を上回る結果となりました。

教育委員会では、まず最初に「学力向上ものがたり」を策定し、市民総ぐるみによる子どもたちの学力向上の実現をめざし、各学校では、学校独自の特色ある取組を具体にした「我が校のものがたり」を作成し、学力向上のための授業改善等に努めています。そして、今回、家庭教育支援資料として「家庭のものがたり」の手引きを作成しました。「家庭のものがたり」では、実践に向けて、「生活のリズムを整えましょう」、「学習習慣を身につけましょう」、「お茶の間に家族と団らんしましょう」等、5つの実践項目を掲げ取り組んでいきたいと考えています。説明は、以上であります。

委員：「家庭のものがたり」の手引きは、全学校に配布しますか。

学校教育課長：明日の校長会で説明しまして、その後、各学校へデータで送る予定であります。10月の初旬には、各学校から保護者に届く予定であります。

委員：校長先生は、自分たちの学校の成績を把握していますか。

学校教育課長：校長先生は、自分たちの学校の成績はすべて把握していますので、この分析結果と比較することは可能です。数字で出すか、比較数値で出すか等どこまで公表するかは、校長先生の判断となります。

委員：県知事の公表の仕方が話題となっていますが、市の公表の方法をどのように考えていますか。

教育長：市のデータを指標値という形で公表しました。県下の市町の中で数字をすべて公表した市町もありますが、ほんの僅かです。昨年までの掛川市のように丸や二重丸といった表現で公表した市町が多い傾向にありました。学校別の公表は、単学級の学校もあり影響が大きいと考えます。少人数の成績でもって、評価されるのは、数字の一人歩き等を招き、本来の姿ではないように思います。市内の小中学校で、単学級の学校は、22校のうち13校あります。また、15人以下の少人数の学校が5校もあることが、掛川市の特色のひとつでもあります。

市長は、公表すべきだと言いますが、公表の有無や方法については、教育委員会の決定に任せると言います。教育委員会の意見を尊重してくれています。

委員長：小学校間の成績にかなり差があると伺っていますが、単学級の学校の多いことが弊害となっていると思います。中学校になると、分母が大きくなり平均点がならされるので、本来

の姿で評価されると考えます。掛川市は、中学になるとさらに平均点が上昇し、良い傾向にあると思います。

(3) 先導的な教育体制構築事業の公募申請について

学校教育課長から、先導的な教育体制構築事業の公募申請について、以下のとおり説明があった。

I C T活用研究に関する一層の推進を目指して、文部科学省に「先導的な教育体制構築事業」及び総務省「先導的教育システム実証事業」に公募申請をしましたので、御承知おき願います。

掛川市は、近隣市町に比べてI C Tを活用した教育が遅れているのが現状であります。今後、教室で使えるタブレット型端末や電子黒板を導入し、先導的な教育システムの構築を目指していくものであります。市として国に補助申請をし、手を挙げた状態であります。全国的には、申請している市町が少ないと聞いていて、チャンスはあると思っています。すでに倉真小、大須賀中で研究を進めています。申請の結果は、近日中に出るとのことです。説明は、以上であります。

(4) 平成26年度全市一斉青少年育成環境美化活動報告について

社会教育課長から、平成26年度全市一斉青少年育成環境美化活動報告について、以下のとおり説明があった。

活動は、地域の方々と、子どもたちが一緒に汗を流し、環境美化活動を通して、子どもたちの社会参加活動への意識と郷土を誇りに思う心を育む機会にすることを願い行っているもので、本年の参加者については、全体で26,472人の参加があり、内、中学生が2,807人、全中学生の89.1%が参加し、小学生は5,196人、全小学生の79.7%の参加がありました。

主な活動(作業)内容は、公会堂やごみ集積所などの公共施設での清掃、カーブミラーやガードレールなどの交通安全施設の清掃、通学路や公園などのごみ拾いや草取り、草刈り作業などを行っていただきました。

活動事例は、実施日までと当日の活動につきましては、多くの地区で中学生が中心になって進められたとのことでした。

感想としましては、区民・親子で地域の環境を美しくすることが、子どもたちの美化意識を高め、地域への関心、郷土愛を育む機会になったことや、区民同士、また小中学生とのコミュニケーションには良い機会になったこと等が寄せられました。

課題としましては、高校生の参加が少なかったことや、実施日が真夏であるため再考をお願いしたい、児童生徒数の減少傾向で、今後の中学生主体の行事に対し検討も必要かと思う等といった検討すべき意見もありましたが、「環境日本一」「協働のまちづくり」のスローガンの中で、良い活動だと思うといった活動に賛同する意見も多く頂いております。

説明は、以上です。

委員：活動自体は、素晴らしいことと思いますが、地元の公立高校以外の私立高校との連携や出席すべきであるという指導が必要であると考えます。市内に住んでいながら他市の私立高校等に通っている生徒にも、情報を伝えたり、私立高校等自体も活動を把握しておく必要があると思います。

社会教育課長：地区の役員の方々等から、できる限り地元に住んでいる高校生等に声をかけていただくよう働きかけています。また、市内3校の高校には、地元ということもあり社会教育課から参加するよう働きかけていますが、他市の高校には、様々な地域から通う生徒も多いことから声をかけていないのが現状であります。

委員：私立、公立を問わず、高校から率先して、地域の行事に参加しなさいという指導も必要であると思います。地区の役員の方は、個人情報の関係もあり、地元から誰がどこの高校に通っているということは、把握しきれていないと思います。区からは、各組に回覧文書を回して参加を呼び掛けているのが現状であります。

教育長：以前は、青少年健全育成会が主催していましたが、現在は、教育委員会と区長会が連携し主催しています。従って、各区ごと教育委員会で作成したチラシを使って参加を呼び掛けています。教育委員会は、各小中学校及び市内の高校へ参加を呼び掛けています。

旧掛川市では、かなり前から実施してまして、中学生が段取りをして取り組んでいる立派な区もあります。今後は、区と連携してこの様な伝統を育んでいきたいと考えています。

また、高校への呼びかけの例としましては、最近では、「世界一短いメッセージ」の募集があります。横須賀高校が、受け止めてくださり、協力をいただき多くの作品が寄せられました。また、掛川東高も協力をいただけると聞いています。

(5) NPO法人掛川体育協会が管理運営する夏期屋外プールの利用実績について

社会教育課長から、NPO法人掛川体育協会が管理運営する夏期屋外プールの利用実績について、以下のとおり説明があった。

この夏に開放した屋外プールの利用実績について、指定管理者のNPO法人掛川市体育協会から報告がありましたので、ご報告します。

利用実績については、安養寺運動公園プールが稼働日数46日で、利用者数13,224人。大東総合運動場プールが稼働日数37日で、利用者数 4,958人。大須賀海洋センタープールが稼働日数30日で、利用者数 903人です。

今年は昨年比べ、天候不順の日が多く、どの会場でも利用者数が大きく下回ってしまいました。参考までに、3施設の利用者合計数は、19,085人で、昨年よりも4,794人減った、という状況であります。

説明は、以上です。

(6) 「かけがわ図書館フェスティバル2014」について

図書館長から、「かけがわ図書館フェスティバル2014」について、以下のとおり説明があった。

かけがわ図書館フェスティバルは、読書推進運動の一環として、読書するきっかけ、より読書に親しむ働きかけを行うことを目的に秋の読書週間に合わせ開催されます。

図書館フェスティバルは、日頃図書館で活動しているグループや図書館職員による「読み聞かせ」や「公開講座」、「手作りコーナー」など、子どもから大人まで楽しんでいただけるイベントが、10月25日の中村柁子さんのオープニング講演会を皮切りに、11月2日までの間、中央図書館、大東図書館、大須賀図書館の3館で多彩に繰り広げられます。なお、10月25日の講演会と11月2日のイベントは大日本報徳社を会場に行います。

また、今年度は、特に、11月1日に大東図書館で行われる「こども図書館まつり」をはじめ

め、こどもスタンプラリーや読み聞かせなど子ども向けのイベントを充実しました。

その他、遠州横須賀ちっちゃな文化展に「ちっちゃな図書館」として出展したり、ゆうやけコンサートなど、盛りだくさんのイベントが行われます。くわしくは、お手元のチラシをご覧くださいと思います。

教育長：図書館では、これらのイベント等を開催し、より良い図書館をめざしさらなるバージョンアップを図っていきたいと考えています。

委員：ノーマディアデーには、本を読む習慣を身につけることも、大切なことと思います。

(7) 平成26年度教育委員研修視察計画について

教育政策室から、平成26年度教育委員研修視察計画について説明があり、以下のとおり方針が決定した。

① 視察先 東京方面

- ・小中一貫校先進地（校舎一体型） 品川区立日野学園
- ・指定管理の美術館等の先進地
世田谷美術館等、都内で2カ所候補地を次回の定例会で提案する。

② 視察日 平成27年1月13日（火）～ 14日（水）

③ 交通手段 鉄道

(8) 9月議会一般質問について

教育次長から、9月議会一般質問について、以下のとおり説明があった。

9月議会一般質問については、11人の議員から質問があり、その内6人から教育委員会関係の質問がありました。主なものを説明します。

議席番号18番の栗原通泰議員から、「小学校運動場の芝生化」の実現についてありました。教育長からは、「子どもたちが、校庭で裸足になって遊ぶことなど憩いの場として、また、環境保全や環境教育に有効であるが、管理面や経費関係等課題もいくつかあり、学校運営に大きくかかわるため今後検討していく」と答弁しました。

議席番号8番の渡邊久次議員からは、「幼稚園、小中学校の防災・避難訓練」についての質問がありました。教育長からは、「東日本大震災で学んだ2つの教訓があり、1つ目は、安全でなければ、子どもたちを引き渡さないこと、2つ目は、自らの安全が確保できるよう避難することです。このため、避難訓練の回数を増やし、保幼小中の合同訓練を採り入れ、防災教育に努めている。今後は、子どもに読ませたい防災教育の本10冊を各園学校に配布し、家庭での防災教育を推進していくため、家庭内で防災会議をもつことを働きかけていく」と答弁しました。

議席番号11番の大場雄三議員から、「和田岡古墳群整備計画について」質問がありました。具体的には、整備計画の進捗状況や掛川市総合計画及び国の進める地方創生の中での位置づけや、今後の利活用と問題点についてでありました。

議席番号10番の野口安男議員から、「いこいの広場」プール跡地の活用について質問がありました。具体的には、プール閉鎖の理由や、プール跡地が有効利用されない理由、跡地が

駐車場になってからの活用状況、跡地を活用していくための制限となっているものは何かといった質問でありました。また、「(仮称)お茶博物館」の建設提案もありました。市長からは、「関係各課と協議するが、近隣市に同様の立派な施設があるため慎重に考えていく」と答弁しました。

議席番号5番の窪野愛子議員から、「安心して子育てができる環境の整備について」質問がありました。具体的には、学校施設の余裕教室等の活用及びそれを活用した学童保育所と放課後子ども教室の一体型または、連携しての実施についての市の見解について質問がありました。教育長からは、「学童保育所と放課後子ども教室では、目的や利用形態等が異なるため今後、国の方針や関係各課との協議を行う中で検討していく」と答弁しました。

議席番号12番の草賀章吉議員から、「教育のあり方について」質問がありました。具体的には、中学校区学園化構想の設立目的、評価と課題について、学園化構想もからめ小中一貫校の必要性について、市の見解を問うものでありました。小中一貫校につきましては、今後先進地を視察する等研究をしていく旨の答弁をしました。以上であります。

その他

(1) 次回定例会等の日程等について

① 10月教育委員会定例会日程

日 時：10月28日(火) 午後1時30分～

開催場所： 市役所南館 教育委員会室

② 11月教育委員会定例会日程

日 時：11月27日(木) 午後3時00分～

開催場所： 市役所南館 教育委員会室

③ 12月教育委員会定例会日程

日 時：12月25日(木) 午後3時00分～

開催場所： 市役所南館 教育委員会室

④ その他の予定

・第2回人づくり構想かけがわ推進本部会議

日 時：10月28日(火) 午後3時30分～

開催場所： 庁議室

・かけがわ教育の日

日 時：11月15日(土) 午前9時00分～

開催場所： シオーネ

・城東中学校防犯灯寄贈式

日 時：11月19日(水) 午前10時30分～

開催場所： 城東中学校

(2) 委員から8月中旬の東北被災地の研修報告、絵本のリサイクル活動について説明があった。

